

○韓国側の資料カード

資料番号	K.Ⅲ-23	資料名	東槎唱酬集
<div data-bbox="359 327 657 723" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="726 327 1264 723" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="555 730 1054 763">卷子本、紙本墨書、(縦×横) 29.2 × □cm</p>			
<p>表題は「東槎唱酬集二」となっているが、鉛筆で書かれていることから便意上現代に記入したと思われる。総二枚からなり、一枚は卷子の表を包んでいるもので、もう一枚は総一七枚の紙を裏打ちしたものである。この紙は正使書記の成大中(1732～1809)が1764年の日本使行の途中に日本人からもらった詩巻及び書翰である。大阪、京都、名古屋、江戸でもらった詩巻や保護しながら随行した日本の僧侶達からもらった詩巻の中から無作為に選んでおいたものに見える。出会いを喜びつつ両国の友好を深める内容で成り立っている。</p> <p>成大中が日本からもらった原本で、現在韓国に残っている日本人の詩巻としては唯一である。</p>			